

1月29日 2年A B組女子が  
器械運動のすてきな授業を公開しました！

5時間目に体育の研究授業を行いました。器械運動「跳び箱」の授業です。2年A B組の女子27名が作り上げたすてきな50分間でした。



一人一人の演技を全員で支えました。

この日生徒たちが挑戦したのは、「前方屈腕倒立回転跳び」。前時までの「頭はね跳び」からずいぶん難度が上がりました。この技は、跳び箱の上に手だけを着いて跳び箱の上で回転したあと着地するものです。頭はね跳びでは頭と手をついて回りますが、前方屈腕倒立回転跳びでは手しかつけません。しかも手だけで

回ろうと思えば、跳び箱の上から手を着かなければなりません。上から着くためには、力強く踏み切らなければならないのです。

この授業では、仲間の補助、仲間のアドバイス、録画した演技をタブレットで確認して仲間との確認……これらを通して、常に仲間と関わりながら難しい技に取り組みました。

生徒たちは跳び箱の横に位置して、仲間の演技を支えました。挑戦してみた仲間に温かなアドバイスを送りました。タブレットで確認した動画で互いに指摘し合いながら学習を進めました。一人ひとりの成長に仲間が大きく関わる授業でした。



動画で演技を確かめる生徒たち

学習に取り組む姿勢、グループの仲間関係、そして、一人ひとりの技術の向上など、すばらしい姿がたくさんありました。授業後に行われた研究会でも、参観者からは「生徒同士の関わりがたくさん見られた授業だった」「素直でひたむきな生徒たちだった」という声がたくさん上がりました。